



平成 29 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 亀田製菓株式会社
 代表者名 代表取締役社長 COO 佐藤 勇
 (コード番号 2220 東証第1部)
 問合せ先 常務執行役員経営企画部長 藤崎 哲也
 (TEL 025-382-2111)

特別損失（のれん等の減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期の決算において、下記の通り特別損失（のれん等の減損損失）を計上する見込みとなりました。

これに伴い、直近の業績動向等も踏まえ、平成 28 年 5 月 11 日に公表した平成 29 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失（のれん等の減損損失）の計上について

当社は、米国の連結子会社である Mary's Gone Crackers, Inc.（以下、MGC 社）の株式取得時に発生したのれん等について、MGC 社を取り巻く環境の変化ならびに収益性改善に向けた取り組みの遅れなどにより、当初策定した計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行い、回収可能価額を慎重に検討した結果、当初想定期間内での回収が困難であることから MGC 社に係るのれん等を減損損失として約 3,100 百万円計上する見込みとなりました。

2. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 101,000	百万円 6,000	百万円 7,400	百万円 4,900	円 銭 232.39
今回修正予想 (B)	98,000	5,600	6,900	2,600	123.31
増減額 (B-A)	△3,000	△400	△500	△2,300	
増減率 (%)	△3.0	△6.7	△6.7	△46.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	97,316	4,649	6,178	4,032	191.26

3. 修正の理由

上記のとおり、特別損失（のれん等の減損損失）が発生する見込みであることに加え、国内米菓事業においては、市場の低迷、主原料価格の高騰、海外事業においては、収益性改善の遅れ等を勘案し、平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を修正いたしました。

4. 配当予想について

期末配当予想につきましては、平成 28 年 5 月 11 日に公表した 1 株当たり 28 円から変更はありません。(年間配当金 1 株当たり 42 円)

5. 今後の施策について

MGC 社は、平成 29 年 1 月より現地市場を熟知した新 CEO を迎え、新たなマネジメント体制でスタートしております。

当該体制のもとで、成長戦略を着実に実行するため販路拡大・市場創造に取り組むとともに、新工場（米国ネバダ州）への移転によりオートメーション化を図ることで収益性の抜本的な改革を進めてまいります。

米国における近年のオーガニック、グルテンフリー食品市場の成長を背景に、MGC 社は安定的な成長を遂げております。当グループは、MGC 社を核に米国事業の更なる拡大に取り組んでまいります。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上